

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【公開番号】特開 2019-80644 (P2019-80644A)

【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2017-208728 (P2017-208728)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 12 日 (2019.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、
設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段と、
前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段と、
前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、
演出の出力量の調整に関する動作を検出可能な演出調整用検出手段と、
前記演出調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の出力量を複数段階のいずれかに制御する出力量制御手段と、
前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記演出調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記出力量制御手段による制御の実行を制限する制限手段と、
を備え、
前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力される
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に変更可能な遊技機（例えば特許文献 1 参照）や、演出に関する設定を変更可能な遊技機（例えば特許文献 2 参照）が提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2010 - 200902 号公報

【特許文献 2】特開 2015 - 29614 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献 1 や特許文献 2 に記載の技術では、設定値を変更中に演出の設定を変更するときの報知の制御について、考慮されていなかった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定値の変更に関して適切に報知でき、設定値の変更に関する不正行為が行われることを防止できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、

複数の設定値のうちいずれかの設定値（例えば設定値 1 ～ 3 のいずれかなど）に設定可能な設定手段（例えばステップ S a 1 3 の設定変更処理を実行する CPU 1 0 3 など）と

、
設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段（例えばステップ S 2 5 の特別図柄プロセス処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、

前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段（例えばステップ S a 6、S a 1 2、S a 1 3 を実行する CPU 1 0 3 など）と、

前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段（例えばステップ A K S 0 0 1、A K S 0 0 2 を実行する CPU 1 0 3 など）と、

演出の出力量の調整に関する動作を検出可能な演出調整用検出手段（例えば出力量切替スイッチ 7 1 A K 0 0 1 など）と、

前記演出調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の出力量を複数段階のいずれかに制御する出力量制御手段（例えばステップ 7 1 A K S 0 1 3 の開始時出力切替処理やステップ 7 1 A K S 0 1 9 の進行中出力変更処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 な

ど)と、

前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記演出調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記出力量制御手段による制御の実行を制限する制限手段(例えばステップ71AKS012の電源投入時コマンド処理としてステップAKS012の処理を実行する演出制御用CPU120など)
と、

を備え、

前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力される(例えば設定変更中報知及び設定確認中報知が最大音量により出力されるなど)。

このような構成によれば、設定値の変更にに関して適切に報知でき、設定値の変更に關する不正行為が行われることを防止できる。

また、従来の遊技機として、特開2016-101428号公報で示されているような、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機がある。このような遊技機において、さらに演出効果を高めることが望まれている。

(1)上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当り遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1)であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出(例えばリーチ演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば演出制御用CPU120)と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段(例えば演出制御用CPU120)と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である(例えば図9(D)、(F))。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。